

報 告

近畿病院図書室協議会創立30周年記念フォーラム

平成16年度近畿地区医学図書館協議会／日本薬学図書館近畿・中国・四国地区協議会／
近畿病院図書室協議会共催シンポジウムおよび近畿病院図書室協議会第105回研修会

研修部

日時：2004年10月8日（金）13：00～16：00
場所：京都市国際交流会館 イベントホール
プログラム：テーマ「効果ある利用者教育をめ
ざして」

基調講演：

1. 近畿大学中央図書館の利用者サービス・利用者教育の取り組み
近畿大学中央図書館収書・整理課課長補佐
中尾民子氏
2. 住友病院図書室における利用者教育－研修
医オリエンテーションを中心に－
住友病院医学図書部司書 松本純子氏
3. 京都大学医学図書館の情報リテラシー教育
京都大学医学図書館閲覧掛長 北川昌子氏
4. 効果ある利用者教育を目指して－関西医科
大学での取り組み－

関西医科大学附属図書館長 山田久夫氏
シンポジウム：

座長 国立病院機構京都医療センター図書室司書
小田中徹也氏

参加者数：79名

第105回研修会

日時：2004年10月9日（土）10：00～16：30
場所：京都市国際交流会館 第一第二会議室
プログラム：

1. 著作権と病院図書室

2. 病院図書館と著作権：最近の話題
虎の門病院図書室 熊谷智恵子氏
3. 国立情報学研究所の新たな情報提供サービス展開
国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課
目録情報管理係長 鶴澤和往氏

ワークショップ：

1. 病院機能評価を評価する
2. 著作権とILL
3. オンラインジャーナルの利用方法
4. 仮想患者図書館

参加者数：46名

今回は、近畿病院図書室協議会創立30周年記念フォーラムと位置づけ、各協議会のご協力を得て、共催シンポジウムと第105回研修会を開催した。

シンポジウムにおいては「効果ある利用者教育を目指して」のテーマのもと、図書館を利用するための教育について、どのような取り組みがなされているか、4名の方から基調講演があり、その成果や問題点についてなどを話された。話の中で、大学図書館の運営について知ることができたが、病院図書館とは全く異なるため、卒後の継続性を持たせた教育をすることは現時点では難しいと感じた。

シンポジウム終了後には、記念コンサート、

懇親会を催し、多くの方にご参加いただいて盛況となった。

次の日の第105回研修会においては、最近動きのあった話題として「著作権」について講演していただいた。図書館員としてとても身近な注目すべき話題だが、なかなか知る機会がないのではないかと考え企画した。初めて内容を知る方もあったようだった。

また、国立情報学研究所からは、これからの情報サービスについて講演があった。病院図書館が参加するにはハードルが多くありそうだが、将来に期待のもてるものもあった。

午後からはワークショップを行った。参加者には、4つのテーマから希望するものを事前に

選んでいただき、グループごとに必要なアンケートをとっておくことや、課題資料を先に読んでおくことなどを準備した上で、ワークショップに臨んだ。どのグループも活発な話し合いが行われたようで、最後に討議した内容を発表したのが、面白くて興味深い結論を導き出したグループもあった。

この日は関東地方に向けて台風が通過して新幹線がストップし、東京方面から来られた方々は家に帰れず足止めを余儀なくされ、難渋された。悪天候が予想されたにもかかわらず、申し込まれた方々のほとんどが参加して下さったことを大変嬉しく思い、感謝いたします。

(文責：安東 正子／姫路赤十字病院)